

津屋崎園グループホーム座々2階

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	7	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	共生・・・共に生きるを理念としている。一般の方々が、地域の一住民として生活を営んでいるように、当施設の利用者の方々も孤立する事のない生活を送られる様支援している。また、楽しくなければ座々じゃない、を方針とし、地域や、人々からの疎外感を感じない生活をつくり上げている。	1	地域において必要とされる施設作り。
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者も職員も、理念、方針を理解し、実践を行っている。	1	このまま継続して行きたい。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	利用者の方を通して、理念が活かしていることを理解して頂ける様、地域の行事、催し物等への積極的な参加を行なっている。また、事業所主催の行事への招待、ボランティア受け入れ等々の取り組み、広報の発行、お手紙の発送を行っている。	1	地域の方々、家族の方々に理解して頂き、受け入れて頂ける姿勢を、事業所自ら作り上げていく。まずは、笑顔で挨拶を。
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の人たちに出会ったり、見かけたりしたら、必ずこちらから挨拶をしている。時には会話することもある。隣近所の方から花や野菜を頂くこともある。	1	隣近所の方々との交流をもっと深めて行きたい。
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方々の結成による銭太鼓、ハーモニカ演奏、アコーディオン、日舞、傾聴ボランティア、等々の来所交流、看護学生、職場体験等の受け入れも行っている。地域の行事や、催し物には積極的な参加をしている。	0	#REF!	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 合 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	認知症専門の事業所として、認知症啓発事業や認知症サポーター養成研修へ参加協力を行っている。いつでも相談に応じられるようにしている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価を実施する事により、改善すべき点、学ばなくてはならない点を、その中から見出し、評価をいかす具体的な改善に向け、研修、勉強会、及び反省会等を実施している。	1	
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	持ち帰った情報、評価、意見等はすぐに伝達し、より良いサービス提供が出来る様、取り入れ実施している。また、ホームの運営理念の理解を求め、日々の取り組み状況を報告し、意見の交換を行いケアに活かしている。	0	継続していく。
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターへの職員派遣、またサービスの質の向上の為に、市主催の研修、講習、催しへの積極的な参加を心掛けている。	0	
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	いつでも対応できる様、講習会参加、勉強会等を設け、必要な知識を身に付ける努力をしている。また必要な方には、活用できる支援体制をとっている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修、講習に参加し情報交換等で知識を深める取り組みを行っている。事業所全体を注意深く観察し虐待に気付く目を養うよう努めている。	1	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	理念を 実践する ための 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学、電話での問い合わせ等が気軽にできる様、窓口を開けている。利用者や家族等が不安や疑問に思う点については、十分な説明を行い、理解や納得を得た上で契約に及んでいる。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの声をその都度、職員全体で受け止め反映させている。外部者との交流もあり気軽に意見の交換がなされている。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	社報の発刊や写真を添えたお便りの発送を行っている。面会の折には、日ごろの様子等をお話したり、必要時には電話で報告を行っている。金銭に関しては、年度ごとに領収証を添えて収支報告書を手渡ししている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関には意見箱を設置し、意見、不満、苦情及び希望等を伺っている。頂いた意見には、即対応している。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議やフリートーク等を実施し、意見を述べる機会を持っている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況の変化や要望には柔軟に対応できている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者や家族の不安を最小限に抑えられるよう努力し、ダメージを受けないフォローを心掛けている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	1	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	平等な人選が行われており、差別はない。採用された職員においては、本人の持つ能力、特技を発揮できる場を持ち、活躍してもらっている。資格取得、質の向上においても力をいれている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	本人の人権を尊重し尊敬の念を持ち接している。職員等に対しても人権教育や、研修に積極的に取り組んでいる。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のレベルに応じた研修、勉強会及び講習会を受けさせている。全体を通じての勉強会なども定期で実施している。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者同志の会議に参加したり、他のホームとの交流等が行われるように計画を立てている。	1	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	社員旅行、親睦会、花見、忘年会等、年に何度となく実施している。	0	計画の実践に向け、取り組んで行きたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に2度、自己評価の場が設けられている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりと その対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	傾聴の姿勢をもち、相手の身になって相談を受け、不安な事や求められている事に対して対応している。本人のこれまでの経緯を本人自身や、家族から聴き受けとめている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	意向に添える様、傾聴し受けとめ、納得のいくまで話し合いを重ねている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が何に対して不安を抱えているのか、何を求めているのかを、相談の内容から読み取り、他の施設、関係機関への案内も併せて行っている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が疎外感や孤独感を感じることが無いよう、職員の一貫した対応、雰囲気作りをしている。サービス内容においても本人の馴染み具合を見て無理強いをせず実行している。また、自宅にいるような雰囲気も家族の協力の下で行っている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0		
係り2 継続 これ までの 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の得意とする事を活かし、能力を發揮して貰える場を常に提供する。家事の得意な方は一緒に家事を、力仕事や自慢の方は共に力を併せ、筆の得意な方には文字をとというように、共に時間を共有しあっている。その中から学び得たことは生活支援に役立たせている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の協力を得ながら、本人が本人らしく生きていける支援を共に行えるよう、交流は密に行っている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの本人と家族との関係を理解し受け止め、援助している。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族の協力のもと、関係の維持に努めている。また面会、電話の取次ぎも受け入れている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	生活の中で孤独感を感じさせないように努めている。時には、他の方の心配をされたり助けあいをされている様子も伺える。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も相談を受けたり様子を伺いに出向いたりもしている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
1 の 一 把 人 握 ひ と り	1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		個人を大切に本人の希望、意向を伺い、できる限り実現に向けたプランを立て実行している。自分の意向等、伝える事が困難な方や場合には、言葉や、行動、表情から読み取り検討している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を利用したり、本人、家族、その他、情報を得られる所からは入手し、安心、安楽な生活を送れるよう支援している。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々観察を怠らず、一人ひとりの心身状態を把握するよう努めている。又、本人の身体レベル、その日の状態にあった過ごし方に配慮している。総合的に把握できるよう、記録、申し送りなどを活用している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の意向、家族の希望を元に全体会議、フロアー会議にかけ必要な意見、アイデアの交換を行なっている。その内容を介護計画に反映させ作成させている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にもモニタリングを行い、現状の把握に努めている。見直し以前に変化が生じた時は再アセスメントを行い、本人、家族の意見をもとに新たな計画を作成している。	1	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、個別にケア実践、結果、様子、及び気づき等を記録に残している。職員全体が目を通し把握に努めている。申し送り、掲示、見直し、及びミーティングを頻繁に実行している。	0	迅速な対応が出来るベース作りに力を入れると共に、定期的な見直し、話し合いに留まらず即時対応できよう環境を整えている。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	1		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や、家族の要望に応えられるよう柔軟に対応している。	1	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	5	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎月、避難訓練の実施や、カットボランティア、傾聴ボランティア等の受け入れ、教育機関においては、実習生の受け入れ、体験実習等地域資源と協力しながら支援している。	0	
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	実際の利用には至らないが、他機関との連絡調整は行っている。	1	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センター主催の研修会や講座への参加、協力を行っている。	1	他のサービスの利用を支援できるように、関係機関のネットワークを活用して行きたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人、家族の希望を伺い、かかりつけ医を決定している。受診は家族の付き添いが基本だが、必要に応じて看護師が受診に付き添い、本人の状態の報告や相談に対応している。	1	地域包括支援センターと協働できるように連携を図りたい。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて家族とも話し合い、認知症の専門医を紹介したり受診をして頂いている。	0	利用者の状態により家族と相談し、適切な医療機関の受診が出来るように地域医療連携を図っている。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制を取り、24時間オンコールで利用者の健康管理に備えている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	カンファレンスに参加し、利用者にとってより良い状況で早期に退院が出来る様に医療機関と連携を図っている。職員が面会に行った場合は利用者の状態をケース記録に記入し、全職員が情報を共有している。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、及び予測される場合は家族に方針を話している。終末期の看取り希望の家族とは、主治医を交えて今後の支援方針を話し合っている。	1	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所で、出来る事、出来ない事と、リスク面を常に見極めミーティングを行っている。医療の手を必要とする場合は医療関係とともに支援を行い、予測できる変化に備え、検討、準備を行っている。	1	終末期のケアの連携、方針について全職員で取組める体制作りを行いたい。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化による本人への負担を少しでも軽減するために、ケア関係者で密な情報交換を行っている。	0	今後の状態の変化に備えて、更なる職員の資質向上に努めて行きたい。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	9	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	9	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に尊敬の念を持って接し、声掛けや対応にも細心の注意を払っている。誤りや不備があれば職員が互いに注意し合い、改めている。記録等個人に関することは管理にも注意を払っている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	必ず、本人の自己決定を頂ける様働きかけ、納得のいく説明を行ったり、本人の意思を大切に尊重している。決して無理強いせず本人の希望や思いに添っている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の、本人の体調、機嫌、様子を観察し、その時の状態に応じた対応を行っている。本人の生活ペースが乱れないよう、活動や休息のバランスを図り希望に添って支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	3	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の希望に添えるよう気をつけている。理美容は本人の望む店に行ける支援を行っている。おしゃれや身だしなみも本人の希望に応じ相談を受け支援している。	1	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に食事の準備から片付けを行っている。職員も一緒に食事をする事で利用者の方から様々な事を教えて頂くこともある。	0	カットボランティアの方にも来て頂いて、いつも身だしなみに気配りをしている。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が望まれる嗜好品には、制限がない限り提供支援している。家族からの差し入れや、買い物に行き購入して頂いている。	1	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	必要に応じて排泄パターンを知るため誘導表を作成している。不快を感じさせない支援を心掛けている。	0	お酒は、元日の食事会には提供している。又、家族の方と同伴の時は飲んで頂いている。
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個別に対応している。本人の希望に添ったり、タイミングを見計らったりと柔軟に対応している。プライバシーの保護にも気配りを忘れず支援している。	1	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やパターンを把握し、体調にあわせて、安心して気持ちよく安眠、休息が取れる環境作りを支援している。	0	個別の身体清潔に気を配っている。又、菖蒲湯や袖湯などを用意して季節感を味わって頂いている。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの能力に合った役割を持って頂いている。個々の希望に応じた活動を提供することで、気分転換を図っている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の出来る方は自分で管理され買い物等される。管理できない方においては、事業所で預かり使用する際は支援している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の希望を受けた場合は、天候、本人の体調を考慮したうえで支援している。色々な行事、催しへの参加、ドライブ、買い物、外食等、外出できる機会を設けている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族へ協力を呼びかけ外出支援を行う場合もある。また、個別にコンサートや、季節を感じられる場所に見学へ出たり、自宅周辺まで出かけることもある。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ、季節のお便り等の支援を行っている。お手紙や、プレゼントを頂いたときのお礼状や、お礼の電話の支援もしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	楽しい時間が過ごせるよう工夫している。気軽に立ち寄っていただける雰囲気、環境作りをしている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	5	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解し、身体拘束等は一切していない。拘束に繋がるような行為も見られない。本人の行動に添うケアに取り組んでいる。	1		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	本人の希望があれば居室に鍵を掛けることもある。玄関は危険がない限り施錠はしていない。無断外出の危険を防ぐ為センサーをつけ見守りを強化している。	0	全職員が知識を深めるために勉強会等を行ない常に拘束に繋がらないかの見直しをしたい。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の所在確認、様子を把握し危険を未然に防ぐ努力を行なっている。夜間帯でも安全に過ごせる様、定期的に巡視、それ以外にも物音や声等にも対応している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じた、危険を防ぐ取り組みをしている	自分で使用、管理可能な方には、任せており、時々確認を行なっている。特に注意を要する物品を使用する際には、職員が付いて支援を行なっている。また、使用後は回収、確認をしている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒の危険性のあるものは、取り除いたり見守りを強化している。窒息の事故が無いよう食事の時の見守りや寝具類の掛け方にも注意をはらっている。火災等は毎月、避難訓練を実施し緊急時の対応を身につけている。	1		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急マニュアルは作成、掲示してあるが、訓練は避難訓練のみとなっている。	1	ヒヤリハット、事故報告書を元に全職員が事故防止のために更なる注意力を身につけたい。
		73 外部 評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月、避難訓練を災害に備えている。	1	急変や事故を想定した訓練や研修を定期的に行うよう取り組みたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族には、起こり得るリスクを度々話して理解をいただいている。	1	近隣の方の協力を得られるように、定期的にお願いに訪問するように心掛けたい。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の観察の中で異変に気付いた場合には、看護師に連絡し指示を仰ぎ、対応にあたっている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を作成しいつでも確認が出来るようにしている。それを基に把握し服薬の支援を行なっている。服薬の際は必ず日付、名前、時間の確認後、飲み込みまで確認する。症状の変化は看護師へ連絡する。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響は充分理解できている。排便の間隔や、量、状態を把握し本人に合った運動、飲食物の工夫を行なっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを実行している。義歯磨き、フォロー磨き、全介助等している。本人の能力に合わせた支援を実施している。夜間帯には義歯の消毒をし、口腔内を清潔にたもつよう支援している。定期的な歯科検診もある。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立にそってバランスの良い食事を提供している。食事、水分のチェック表をつけたり、食べ方、食べ残しの中から観察し摂取の工夫をしてバランスが崩れないよう支援している。	1		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアル化されている。感染症を内から出さない、外から入れない努力をしている。手洗いうがいの励行、消毒液の活用、予防接種、その他感染別の対応がなされている。	0	脱水、栄養不良にならない様観察を常に行なっている。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具の使い分け、加熱消毒、ハイター消毒、専用のエプロン、手指消毒の励行。料理は調理後2時間以内で廃棄。食材の使いきり。台所の清掃をおこなっている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先には四季折々の花々が植えてあり庭木の手入れ、草取り等もなされ人々を快く迎え入れられる環境が整えてある。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間にはゆったりとしたスペースを設けている。利用者が自分の思い思いの場所を心地良く利用できる工夫がなされている。季節感を感じられる掲示物等は利用者と共に作成、展示している。不快な音や光を感じない工夫もされている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間には、一人ひとりのお気に入りの居場所があり居心地良く過ごしている。快適に過ごせる様、家具の配置、装飾等の工夫もしている。	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入り口には、表札を掛け、自室である事を確認できる様にしている。使い慣れた家具や馴染みの物は本人の生活スタイルに合わせ配置している。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気はまめに行なっている。気になる臭いや空気の淀みは窓を開けたり、換気扇を使用して対応している。外気との大きな温度差が出ない様、温度管理にも気を配っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	随所に手すりの設置、段差の解消、往来に接触のない幅を取っている。利用者の使用箇所の戸は全て引き戸となっている。一人ひとりの身体機能にあった家具の配置も工夫されている。入浴時は介護用品も使用している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人の意思を尊重しながらケアにあたる。表情や言葉等から、混乱や失敗を察知し未然に防ぐことを心掛けている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外周りやベランダには花を植え、開花時には花見で楽しんだり、野菜を植え育て、収穫を喜びあっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。